

# アクティブ・ オーナーシップ

## 良い変化を生むためのグローバルなエンゲージメント

アクティブ・オーナーシップは、お客様のために持続可能な価値を創出する取り組みです。リーガル・アンド・ジェネラル・インベストメント・マネジメント (LGIM) の年次レポートでは、2019年にLGIMがどのようにしてこれを実践したかを詳しく説明しています。

"LGIMは、気候変動から役員報酬に至るまで、お客様や社会全体にとっての重要な問題について、これからも企業や規制当局に対して厳然とした行動を取っていきます"

インベストメント・スチュワードシップ担当ディレクター  
サシャ・サダン



### 2019年、LGIMは...

493 社   
エンゲージメントを実施

  
50,900  
の議案に投票\*

世界全体で  
4,000 人以上の  
取締役の選任に反対\*

世界各国の市場のスタンダードを  
引き上げることを目指して、  
規制当局や政策立案者との約 **30** のエンゲージメントに参画\*\*



LGIMの気候影響誓約 (Climate Impact Pledge) のもと、  
取り組みが遅れている **11** 社に対し  
て議決権行使と投資行動を実施

取締役や監査役の適任性や報酬、または企業戦略のその他の要素に関わる問題を主な理由として、

投資先企業の **71%** で少なくとも1件の議案に反対投票



\* 日本企業の取締役587人を含みます。なお、これらの議決権行使は、LGIMの主要FTSEブルインデックスファンドの議決権行使指図を表しています。

\*\* 日本版スチュワードシップコードの再改訂に向けた金融庁との継続的なエンゲージメントなどが含まれます。

# LGIMが目指すのは...

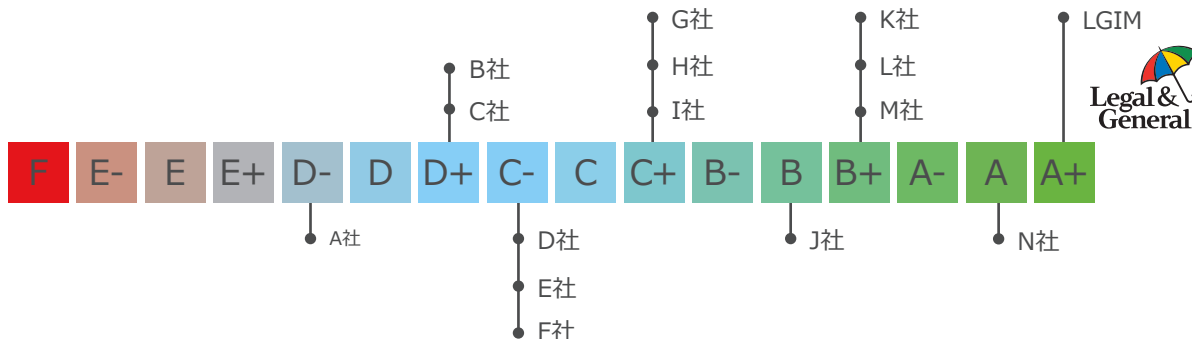
... 投資対象である企業や資産、そして社会全体に良い変化をもたらすことです。2019年、LGIMは以下の分野に重点的に取り組みました。

## 気候変動

- LGIMは、世界の大手資産運用会社20社のどこよりも多く、気候変動への積極的な対策を求める株主提案を支持しました<sup>1</sup>。
- LGIMは、気候変動への取り組みにおいて先駆的な企業と遅れている企業のランキングを、昨年に続き発表しました。この第2回となるランキングには、取り組みの改善の余地が大きい企業としてエクソンモービルなど11社が挙げられています（参考：この11社には、日本郵政やスバルが含まれています。）。
- LGIMはポーランドにおいて、欧州の規制強化やクリーンな代替エネルギーの価格が低下する中で採算割れのリスクが高く、また、大気を汚染する石炭火力発電所の建設中止を求める訴訟での勝利に貢献しました。

## 気候に関する投資家・企業間のエンゲージメントおよび議決権行使の評価

企業の気候に関する取り組みを評価する英国のNGOインフルエンスマップ（InfluenceMap）による、資産運用大手15社の気候に関するエンゲージメントの総合評価においてLGIMは最高のA+に評価されました。



出典：InfluenceMap (2019)



### ケーススタディ：BP

2019年、LGIMは初めての株主提案を提出しました。他の主要株主の協力のもと、巨大エネルギー企業BPに対し、同社の戦略がパリ協定の目標とどれだけ整合しているかを説明するよう求めました。

この議案は、株主から圧倒的な支持を得て可決されました。その後、BPは業界をリードする炭素排出削減目標を発表しています。

1. 出典：ShareAction, Voting Matters（仮邦題：議決権行使は重要）（2019）

本資料における個別企業への言及は、LGIMのステュワードシップ活動をよりわかりやすく説明するために掲載したものです。また、紹介された事例は過去の事象に基づくものであり、言及された個別銘柄については、現在及び将来、LGIMのポートフォリオでの保有または保有予定を意味するものではありません。本資料は、いかなる銘柄の購入も売却も推奨するものではありません。

## 所得の不等等

- 世界全体で35%の役員報酬に関する議案に反対票を投じました。
- 従業員に対して「生活賃金（暮らしの基本的ニーズを満たす生活を維持するために必要な最低限の賃金）」を支払うよう、投資先企業に働きかけました。
- 米国では、「セイ・オン・ペイ (Say on Pay) 」制度に関する352の議案に反対票を投じたのに加え、報酬のあり方の改善を求める32の株主提案に賛成しました。

## ダイバーシティ

- 日本企業19社に対してジェンダー・ダイバーシティを改善するよう働きかけました。また、女性取締役不在のTOPIX100企業について2020年からは取締役の選任議案に反対する方針を発表しました。
- LGIMが過去3年間にわたってエンゲージメントの対象としてきた米国企業72社のうち51社において、今では少なくとも1人の女性取締役が就任しています。
- 取締役会のダイバーシティに問題があることを理由として、世界各国の企業の190人を超える取締役の選任に反対しました。

## 企業との主なエンゲージメントのテーマ



気候変動



報酬



ダイバーシティ



取締役会の構成



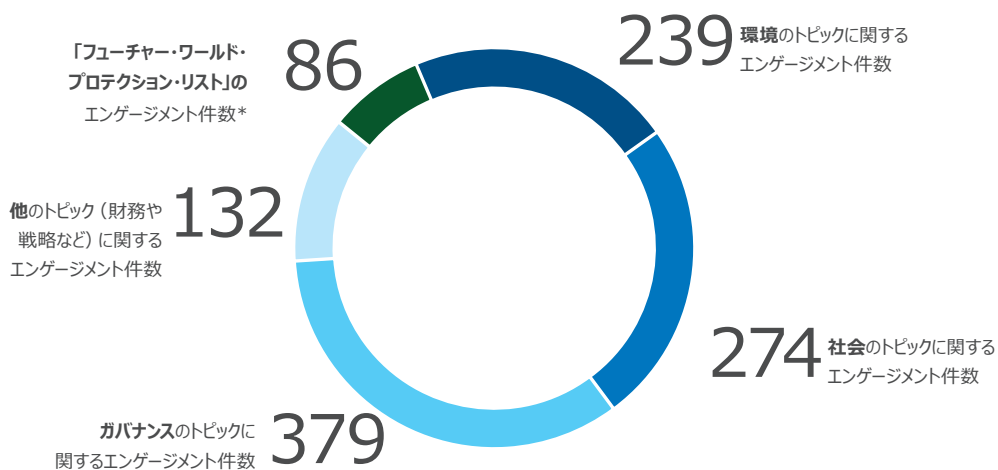
経営戦略



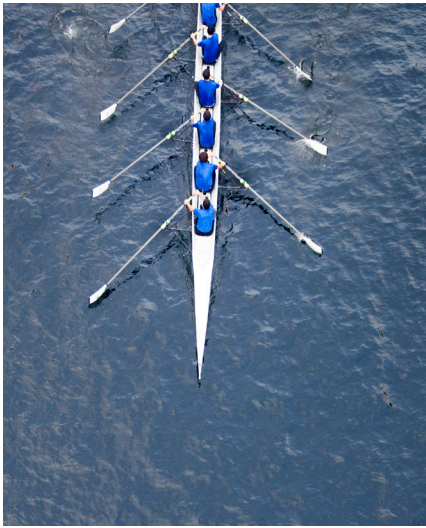
## ESGインテグレーション

- LGIMは、リサーチとエンゲージメントのグローバルなプラットフォームを構築し、資産運用業務全体にわたりセクターごとの知見を結集しています。
- 業界において先進的な「フューチャー・ワールド」戦略を拡充するとともに、環境・社会・ガバナンス (ESG) の観点を取り入れた複数のファンドを立ち上げました。
- LGIM独自のESGスコアの算出手法の見直しを続け、スコアの低い企業98社の取締役会議長宛ての書状にて、社会やガバナンスの取り組みと情報開示（データの第三者保証を含む）の改善を求めました（参考：日本企業8社に対する改善要求が含まれます。）。
- 「グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク (GRESB) 」評価を受けたLGIM Real Assetsのファンドすべてが、グリーンスターを取得しました。

## 2019年のESGエンゲージメントの内訳



\*国際的に認められたサステナビリティや人権に関する最低水準を下回る企業とのエンゲージメントを意味します。



## LGIMが注力したその他の分野

- **ロビー活動** -- 政策に影響を及ぼすことを目的とする活動について情報開示を要求
- **ガバナンス** -- 長期的な成功に向けて企業を支援
- **M&A** -- 取引における投資家の利益を保護
- **アクティビズム** -- あらゆる当事者との協業を通じて企業とお客様の長期的利益を保護
- **企業文化** -- LGIMの基準が満たされない場合に介入
- **投資家の権利** -- 1株1議決権の原則の主張
- **受託者の教育** -- お客様が十分な情報に基づく意思決定を行えるよう支援
- **非業務執行取締役の教育** -- 企業のベストプラクティスを示すガイド9点を発表し、非業務執行取締役向けのイベントを開催

## レポート全文 (英語のみ)

LGIMのステewardシップ活動における具体的な事例などの詳細は、アクティブ・オーナーシップ・レポートの全文をご覧ください。  
[www.lgim.com/activeownership](http://www.lgim.com/activeownership)

LGIMのインベストメント・ステewardシップのチームは、LGIMブログやポッドキャストチャンネル「LGIM Talks」でも最新情報を定期的に発信しています。

また、リーガル・アンド・ジェネラル・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社のウェブサイトにて一部の資料の日本語訳を掲載しています。

<https://www.lgimjapan.com/ja/jp/resources>



## お問い合わせ

LGIMについての詳細は、[lgim.com](http://lgim.com)をご覧ください。か、LGIMの営業担当者までご連絡ください。



### 重要事項

投資の価値とそれから得られる収益は保証されているものではなく、変動するおそれがあり、投資した元本を取り戻すことができない場合があります。

本資料の原文は、英文であり、日本語訳は参考までに提供されるものです。英文と日本語訳に齟齬がある場合には、英文が優先します。

© 2020 本資料の著作権は、LGIM が有しております。

Legal & General Investment Management Ltd, One Coleman Street, London, EC2R 5AA

LGIMは、金融行為監督機構による認可を受けその規制下にあります。

CC12832020.

